

第8回（令和5年度）市民満足度調査及び市政推進委員アンケートの結果について《訂正版》

◆ 第8回（令和5年度）市民満足度調査

1. 調査目的

市が取り組む施策に対して、市民が現在どの程度満足と感じているか、そして今後どれくらい重要と感じているかを統計的に整理し、施策に関連する市民の生活実感・行動実態・認知度等を把握することにより、「清須市第2次総合計画」の進捗を適切に管理すると共に、施策に関する市民の意向等を踏まえた「清須市第3次総合計画」策定の基礎資料とすることで、清須市のまちづくりに反映することを目的としてアンケート調査を実施しました。

2. 調査方法

- 調査対象：住民基本台帳に記載された市内にお住まいの20歳以上の方（令和5年10月1日現在）
- 対象者数：3,000人（無作為抽出）
- 調査方法：郵送調査（郵送配布、郵送回答又はインターネット回答）
- 調査期間：令和5年10月24日（火）～11月22日（水）

3. 回収数及び回収率

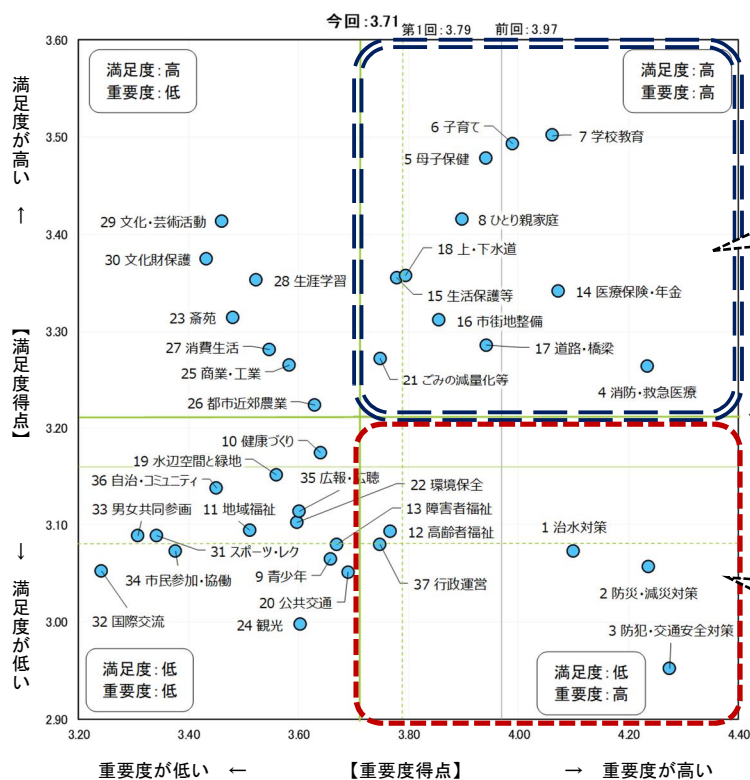
回収数は1,467件、回収率は48.9%で、前回の調査と比較して若干低下しました。

【参考：過去の調査における回収率】

	実施時期	対象者数	回収率
第1回	H20.11	4,000人	41.8%
第2回	H22.6～7	4,500人	40.2%
第3回	H24.6～7	4,500人	41.7%
第4回	H26.7	4,500人	42.2%

	実施時期	対象者数	回収率
第5回	H28.7～8	3,000人	45.3%
第6回	H31.2～3	3,000人	50.1%
第7回	R3.10～11	3,000人	52.5%
第8回	R5.10～11	3,000人	48.9%

4. 結果のまとめ【市民満足度調査報告書（資料①-2）P.41～45】



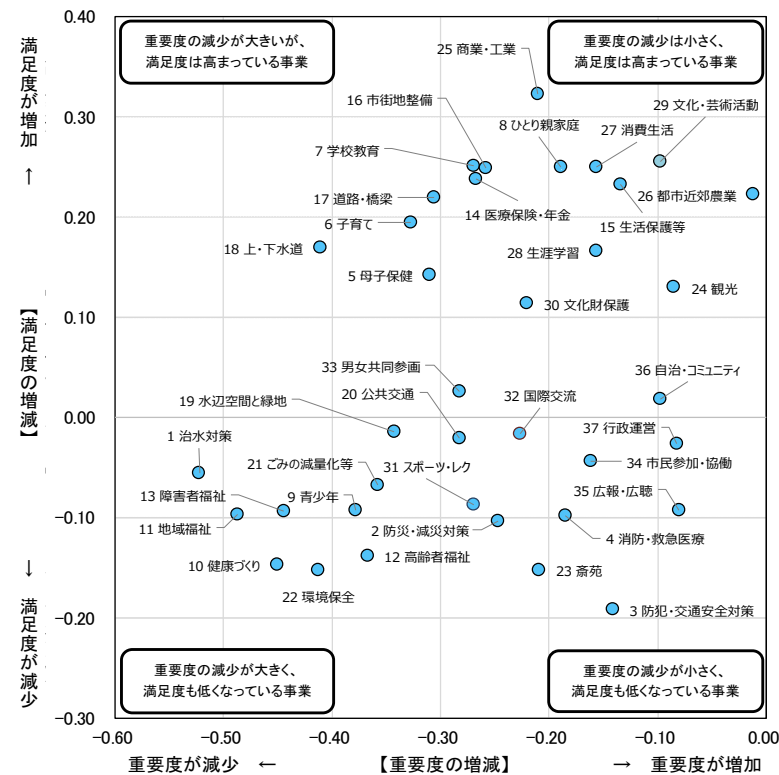
左の図は、37の施策ごとの「満足度」と「重要度」を相関図で示したものです。

重要度が高く、満足度も高い

引き続き満足度を維持・向上するための取組が必要です。

重要度が高いが、満足度は低い

満足度の向上に資する取組が求められます。



左の図は、37の施策ごとの「満足度」と「重要度」における前回調査（令和3年実施）と比較した増減を相関図で示したものです。

37の施策について、全ての項目で市民が感じる「重要度」が低下しました。全体を通じて、「重要でない（又は、あまり重要ではない）」が増加したというよりは、「どちらともいえない」の回答が増加しています。

図の下側に位置する施策は、前回との比較において市民の「満足度」が減少しており、かつ、図の右側に位置する施策は、「重要度は高い状態を維持しつつ、満足度が下がっている」ため、満足度の向上に資する取組が求められます。

これらの他に、市民満足度調査の結果を含めた、第2次総合計画の進捗評価については、後ほど「資料③ 清須市第2次総合計画 後期基本計画達成度指標の達成状況及び評価」によりお示しします。

◆ 市政推進委員アンケート調査

1. 調査目的

第3次総合計画の策定にあたって、地域の実情に精通した市政推進委員の皆様の意見を聴取し、計画策定の資料とすることを目的としてアンケート調査を実施しました。

2. 調査方法

- 調査対象：市政推進委員 38人
- 調査方法：郵送調査（郵送配布・郵送回収）
- 調査期間：令和5年11月27日（月）～12月11日（月）

3. 回収数及び回収率

回収数は29件、回収率は76.3%となりました。

4. 結果のまとめ【市政推進委員アンケート調査結果（資料①-4）】

市政推進委員アンケート調査結果（資料①-3）のとおり、各政策分野における市政推進委員からの視点でのご意見をまとめました。

■市民満足度調査結果の訂正について

市民満足度調査の結果を分析するにあたって、施策別の満足度・重要度を得点化しています。得点化の方法は、無回答を除外したうえで、「満足している又は重要である（５点）」～「不満である又は重要ではない（１点）」を各選択項目の点数とし、それぞれの回答実数を乗じてその平均点を算出することとしています。

この度、得点の算出にあたって無回答を含めて平均点を算出してしまっていたため、正しい方法で再算出を行いました。これにより、第２回総合計画審議会でお示した市民満足度調査の結果と比較して、３７全ての項目において、満足度・重要度の得点が増加しました。また、３７の項目間における満足度・重要度の得点の順位の変動が生じています。

